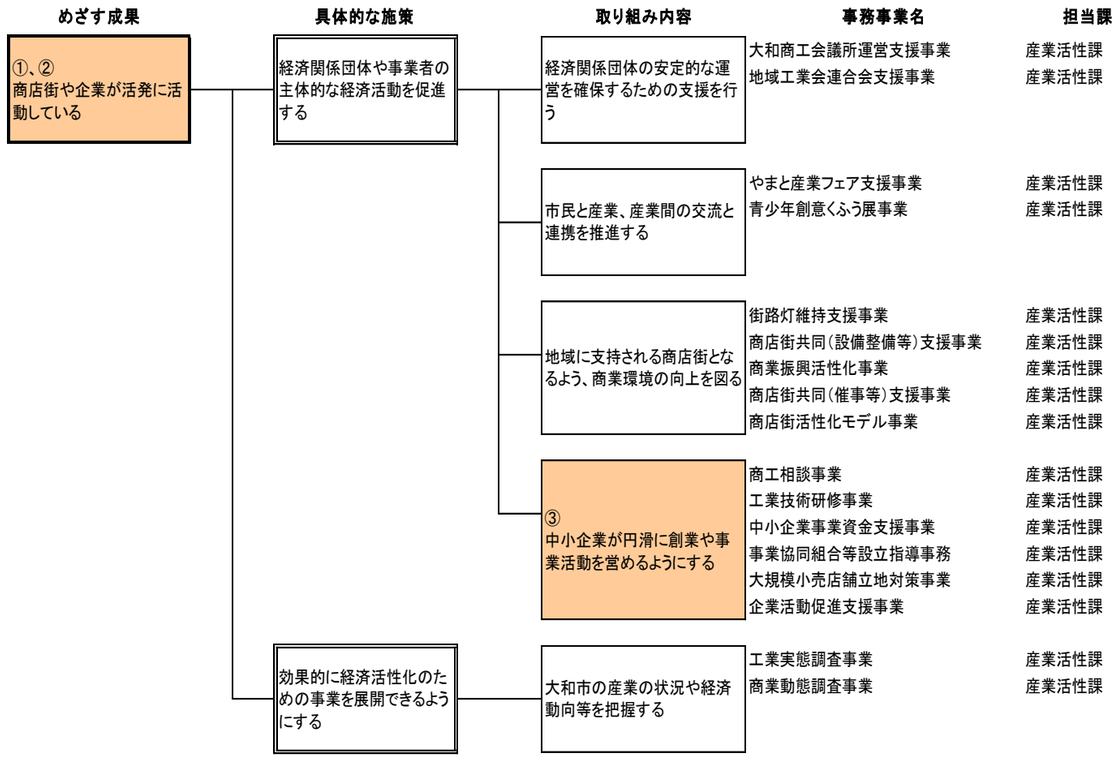
「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

7－2－1　商店街や企業が活発に活動している

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	にぎわいのある地域をつくる
	めざす成果	商店街や企業が活発に活動している
		商店や企業に活気があり、活発に経済活動を展開しています。また、新たに事業を始める人が増えています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②		総合計画掲載指標③	
大和市は、買い物がしやすいと思う市民の割合		市内商業者が商店街団体に加入している割合		法人設立数	
計画策定時現状値	66.6%	計画策定時現状値	84.7%	計画策定時現状値	336件
実績値（H21）		実績値（H21）	79.3%	実績値（H21）	259件
中間目標値（H23）	68.0%	中間目標値（H23）	85.0%	中間目標値（H23）	350件
目標値（H25）	70.0%	目標値（H25）	85.0%	目標値（H25）	350件

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	【経済関係団体や事業者の主体的な経済活動を促進する】 ・大和商工会議所に対して補助金及び貸付金を交付し、市内の商工業の振興・発展を図りました。 ・市内事業者が市内金融機関を通して低利で事業資金等の融資を受けられる間接融資や、融資制度に連動した利子補給や信用保証料補助を行いました。 ・中小企業信用保険法に基づく認定を行いました。 ・市内中小企業が自社の製品等のＰＲのため、展示会等に出展する際の会場使用料（ブース代）や展示装飾に係る経費の一部を補助（補助率２分の１、上限１０万円）しました。 ・大和駅周辺に空き店舗を活用したアンテナショップの設置を進めるとともに、商店会及び加盟店舗のホームページ作成を支援しました。
構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）	・商工会議所に対する一般事業運営費補助金と相談事業運営費補助金のうち、相談事業運営費補助金に関しては、平成21年度に県の補助金算定方法が変更されたため、平成23年度以降の補助金額の算定については本市への影響を考え、検証が必要となります。 ・中小企業者の資金調達支援策について、他市の融資事例等も参考にしながら、様々な方策を検討していく必要があります。また、創業や事業継承のための融資制度についても検討を図る必要があります。 ・展示会への出展者が自ら、新規取引先の開拓や受発注機会の確保に向けた取り組みを行うとともに、市は出展後の取り組み経過を把握することが必要です。

今後の展開方針	注）．例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。	（該当する事務事業）
新規事業の立案		
既存事業の拡充	・補助対象者数を２社分増加し、合計１０社とします。	（該当する事務事業） 企業活動促進支援事業
事業の廃止・縮減		（該当する事務事業）
事業の効率化	・厳しい経済情勢に鑑み、市内中小企業への融資等の実績に合わせた預託金の配分を見直し、より借入しやすくする対策を検討します。	（該当する事務事業） 中小企業事業資金支援事業
その他見直し	・相談事業運営費補助金の補助金額への影響及び現行要綱の見直しを含め検証を行います。	（該当する事務事業） 大和商工会議所運営支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	＊平成24年度の審議予定となっています。